

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【公表番号】特表2005-520536(P2005-520536A)

【公表日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【年通号数】公開・登録公報2005-027

【出願番号】特願2003-577810(P2003-577810)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/82 (2006.01)

C 0 7 K 16/32 (2006.01)

C 1 2 M 1/00 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 39/395 E

A 6 1 K 39/395 T

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 35/00

C 0 7 K 14/82

C 0 7 K 16/32

C 1 2 M 1/00 A

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 Q 1/02

C 1 2 Q 1/68 A

C 1 2 N 5/00 A

C 1 2 N 15/00 F

A 6 1 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月13日(2006.3.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

表 1 に記載の配列からなる群から選択されたヌクレオチド配列を含む、組換え核酸。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の組換え核酸を含む、宿主細胞。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の組換え核酸を含む、発現ベクター。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の発現ベクターを含む、宿主細胞。

【請求項 5】

表 1 に記載された配列からなる群から選択された配列を含む核酸配列によりコードされるアミノ酸配列を含む、組換えタンパク質。

【請求項 6】

薬剤候補をスクリーニングするインビトロでの方法であって、該方法は、以下：

a) 表 1 に記載された配列またはそのフラグメントからなる群より選択された核酸配列を含む、癌腫関連性 (C A) 遺伝子を発現する細胞を提供する工程；

b) 薬剤候補を該細胞に添加する工程；および

c) 該 C A 遺伝子の発現における該薬剤候補の効果を決定する工程、
を包含する、方法。

【請求項 7】

前記決定する工程は、前記薬剤候補の非存在下における発現レベルと、該薬剤候補の存在下における発現レベルとの比較を包含する、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

C A タンパク質 (C A P) に結合し得る生物活性因子をスクリーニングする方法であって、該 C A P は、表 1 に記載された配列からなる群より選択された核酸配列を含む核酸によりコードされ、該方法は、以下：

a) 該 C A P および候補生物活性因子を合わせる工程；および

b) 該候補因子と該 C A P との結合を決定する工程、
を包含する、方法。

【請求項 9】

C A タンパク質 (C A P) の活性を調節し得る生物活性因子をスクリーニングする方法であって、該 C A P は、表 1 に記載された配列からなる群から選択された核酸配列を含む核酸によりコードされ、該方法は、以下：

a) 該 C A P および候補生物活性因子を合わせる工程；および

b) 該 C A P の該生物活性における該候補因子の効果を決定する工程、
を包含する、方法。

【請求項 10】

候補癌腫薬剤の効果を評価するのを補助する方法であって、該方法は、以下：

該候補癌腫薬剤が投与された患者から得られた細胞サンプル中での、表 1 に記載された前記配列からなる群より選択された核酸配列を含む遺伝子の発現または活性の変化を決定する工程、

を包含する、方法。

【請求項 11】

癌腫を分析するためのデータを集める方法であって、該方法は、以下：

a) 第 1 の個体から得られた第 1 の組織型における、表 1 に記載された配列からなる群より選択された核酸配列を含む一つ以上の遺伝子の発現を決定する工程；および

b) 該遺伝子の発現と該第 1 の個体から得られた第 2 の正常な組織型または第 2 の罹患していない個体から得られた第 2 の正常な組織型からの該遺伝子の発現と比較する工程；
を包含し、

該発現の相違は、該第 1 の個体は癌腫を有することを表す、方法。

【請求項 12】

C A タンパク質 (C A P) の活性を阻害するための組成物であって、該 C A P は、表 1 に記載された前記配列からなる群より選択された核酸配列を含む核酸によりコードされ、該組成物は、該 C A P への阻害因子を含む、組成物。

【請求項 13】

C A タンパク質 (C A P) の阻害因子を含む、癌腫を処置するための組成物であって、該 C A P は、表 1 に記載された配列からなる群から選択された核酸配列を含む核酸によってコードされる、組成物。

【請求項 14】

C A タンパク質 (C A P) の効果を中和するための組成物であって、該 C A P は、表 1 に記載された配列からなる群から選択された核酸配列を含む核酸によりコードされ、該組成物は、中和をもたらすのに十分な量の該 C A P タンパク質に特異的な因子を含む、組成物。

【請求項 15】

表 1 に記載された配列からなる群から選択された核酸配列を含む核酸によりコードされたタンパク質と特異的に結合するポリペプチド。

【請求項 16】

表 1 に記載された配列からなる群より選択された核酸配列を含む核酸によりコードされたタンパク質と特異的に結合する抗体を含む、請求項 15 に記載のポリペプチド。

【請求項 17】

表 1 に記載された配列またはそれらのフラグメントの核酸からなる群より選択される、一つ以上の核酸セグメントを含む、バイオチップ。

【請求項 18】

個体の少なくとも一つの C A 遺伝子を配列決定することにより、癌腫または癌腫性向を分析するためのデータを集める方法。

【請求項 19】

ハイブリダイゼーションに適した条件下で、個体由来のゲノム D N A サンプルに C A 遺伝子プローブを添加する工程を包含する、C A 遺伝子コピー数を決定する方法。